

実態調査（その1）の結果

1-6 東日本大震災を経て今後に役立てたいことや気づいた点

---

宮城県全体

仙台市教育委員会管内

大河原教育事務所管内

仙台教育事務所管内

北部教育事務所管内

北部栗原教育事務所管内

東部登米教育事務所管内

東部教育事務所管内

南三陸教育事務所管内

高等学校

特別支援学校

## 1-6 東日本大震災を経て今後に役立てたいことや気づいた点

### 1-6-1 宮城県全体

#### ■ 1. カテゴリーごとのコード数

宮城県全体では433人の回答があり、コード数は772になった。このコードをグループ化して、22のサブカテゴリーに整理している。具体的な記述にまとめたサブカテゴリーを、コード数の多い順に並べると次のようになる。【 】はサブカテゴリーの属するカテゴリー。

コード数の多い順	<サブカテゴリー>【カテゴリー】	コード数
1	<自然災害危機管理体制>【校内体制の整備】	112
2	<備蓄倉庫に備えたいもの>【校内体制の整備】	106
3	<備品の整理・補充>【災害時に保健室の機能を最大限生かす】	89
4	<地域ぐるみの準備>【地域の防災対策を充実】	49
5	<実働に向けた準備>【養護教諭の災害時の実践力を培う】	39
6	<養護教諭同士の情報交換が必要>【養護教諭の災害時の実践力を培う】	35
7	<養護教諭の役割を明確化する>【養護教諭の災害時の実践力を培う】	33
8	<誰でもわかるように配置・備品の明確化>【災害時に保健室の機能を最大限生かす】	31
9	<心のケア>【校内体制の整備】	29

#### ■ 2. 宮城県全体のサブカテゴリーからの分析

一番多くの354コードがあったカテゴリーは、【校内体制の整備】で、その中でも、コード数が多かったサブカテゴリーは<自然災害危機管理体制>、次に<備蓄倉庫に備えたいもの>であった。

<自然災害危機管理体制>では「様々な状況を考えて対応を検討しておく」「いろいろな場面を想定した訓練が必要」「災害時の役割分担を明確にしておく」「緊急時の対応について共通理解しておく」など、危機管理体制の確立が多く挙げられた。特別支援学校では、「児童生徒の常備薬を3日分預かることに決定した」学校もあった。「医療機器使用者の緊急時のシミュレーションをしておくこと」や「医療的ケアが必要な児童生徒への対応を明確にしておくこと」なども挙げられていた。「避難訓練」は、多くの地域から挙がっており、やはり、日頃の備えや意識を持つためには、日々行っている「避難訓練」の充実が大切である。毎回、同じ事をするのではなく、いろいろなシミュレーションを考え、場合によっては避難経路を変え、状況に合わせて変更して対応ができるような訓練も必要である。

二番目に多かった<備蓄倉庫に備えたいもの>では、備蓄しておくの良い物を具体的に挙げている養護教諭が多かった。共通している物品は、医薬品、衛生材料、食料、水、発電機、生活用品、防災用品などである。今までの危機管理体制では、今回の震災時にうまく機能しなかったこともあり、想定外となった規模の大きい災害に対応する必要な物品も備蓄が十分ではなかったのである。

三番目の<備品の整理・補充>では、「災害時に対応できる物品の準備」「救急薬品の準備と定期的な確認」「備品の見直し」などが挙げられている。特別支援学校では、「栄養剤の備蓄」も挙げられていた。

【地域の防災の充実】では、<地域ぐるみの準備>のコード数が多く、「日頃から、行政、地域、学校の連携を図っておく」「区役所ごとの実働のための連絡会の開催」「地域に救護所を運営できるスタッフがいて緊急時に駆けつけることができるシステム作り」「ライフライン遮断時の医療機関への搬送方法の検討」「組織的に動く体制の見直し」など、地域ぐるみで協力・連携して取り組むことが大事だと回答されていた。

【養護教諭の災害時の実践力を培う】では、<実働に向けた準備><養護教諭同士の情報交換>のコード

数が多かった。＜実働に向けた準備＞では、〔災害時の保健室の救護としての役割や備蓄品について十分検討して備えておくこと〕〔心のケアのスキルを身につける〕〔放射線の知識を得る〕〔最良の判断ができる知恵と知識と経験を積んでおきたい〕など、実働に向けてどのようなことを普段、準備していたらよいのかと上げられていた。＜養護教諭同士の情報交換＞では、〔被災地区や被災校の活動の様子や困った事から学ぶ機会〕や〔被災地域の学校の児童生徒の心のケアの対応や体制の実態を聞く機会〕があると良いという回答があった。また、〔震災の体験をまとめ、後世に伝えていく〕ことも大事だという回答があった。

### 3. まとめ

今回の東日本大震災は、誰も経験した事のない未曾有の大震災だったため、それぞれが多岐のことを学んだといえる。この経験を後世に伝え、いざという時には誰もがスムーズに迅速に対応できる準備が大事だと考えている。各地からの復興支援に感謝しつつ、アンケートから、今後役に立てていくための事柄をまとめてみた。

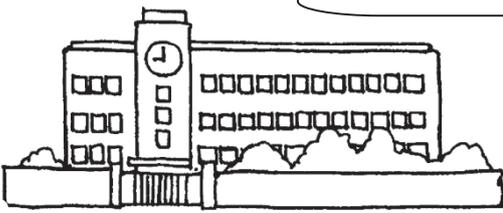
今後に役立てたいことから

危機管理意識を持とう!



日頃から、物品整理と補充しておく

地域で一緒に対策!



養護教諭は日頃から情報交換を! 子どもの心のケアも念頭に



災害に備えた対策を!



- 学校内では** 自然災害への危機管理意識を持とう!
- 学校内で** 災害に備えた備蓄をしておこう!
- 学校は** 地域と一緒にあって、防災対策をしよう!
- 保健室で** 日頃から物品の整理・補充を行い、わかりやすく配置しておくことは、災害時に役に立つ!
- 養護教諭として** 災害時の役割を考え、備えておこう!
- 養護教諭同士は** 日頃から情報交換をし、助け合える関係を築いておこう!
- 災害時は** 非日常的な生活の中で、子どもたちの心のケアも必要になることを覚えておこう!



表 宮城県全体（東日本大震災を経て今後に役立てたいことや気づいた点）

カテゴリ	サブカテゴリ	地区		仙台市	大河原	仙台	北部	北部栗原	東部登米	東部	南三陸	高校	特別支援	合計	
		回答数	103人												
養護教諭の 災害時の実 践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	6	4	8	0	0	4	25人	5	1	7	0	0	35	
	実働に向けた準備	18	4	3	4	1	1	3	3	2	3	0	0	39	
	知識やスキルの研修	10	1	3	0	1	3	4	4	1	5	0	0	28	
	養護教諭同士の情報交換が必要	11	5	3	4	6	2	1	1	1	2	0	0	35	
	養護教諭の支援体制を作る	6	0	5	2	3	0	5	2	1	1	0	0	24	
	その他	0	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	保健室機能の保持	9	1	1	1	0	0	0	0	1	6	0	0	0	19
	誰でも分かるように配置・備品の明確化	12	8	3	0	2	1	1	1	0	2	2	2	0	31
	備品の整理・補充備品の整理・補充	18	16	5	5	6	8	4	8	8	16	3	0	0	89
	保健室の耐震	5	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
災害時に保健室 の機能を最大限 生かす	(自然) 災害危機管理体制	8	15	9	11	11	4	4	3	8	34	9	9	112	
	心のケア	0	0	5	12	0	4	3	3	2	3	0	0	29	
	避難所対応の準備	11	6	15	3	8	1	5	1	1	20	0	0	70	
	備蓄倉庫に備えたいもの	28	0	3	6	12	8	5	5	12	30	2	2	106	
	職員体制	3	0	3	4	1	1	2	2	3	11	0	0	28	
	管理職の考え	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
	その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	
	防災マニュアル	6	4	6	6	1	0	1	1	1	3	1	1	29	
	地域ぐるみの準備	15	0	7	2	0	6	6	6	5	7	1	1	49	
	異動	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
その他	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
感謝	2	2	5	0	0	0	4	0	4	4	0	0	0	17	
合計	178	72	86	62	52	43	55	154	18	772					

〈担当・管理〉

仙台市教育委員会管内

178 のコードが、4つのカテゴリーに分けられた。

【養護教諭の震災時の実践力を培う】という点では、想定しきれない程の大震災に直面して、〔マニュアル通りにはいかない。柔軟な対応が必要。〕、〔その状況になってから人は動く〕という意見もあったが、実際に対応した経験を振り返り、災害時の養護教諭・保健室の役割を養護教諭の視点から明確にし、マニュアル化し今後に生かすことが大切であるという意見も多かった。

〔心のケア〕、〔感染症予防〕、〔放射能の影響〕などあらゆる場合に対応できる、養護教諭のスキルの向上や近隣の養護教諭同士の情報交換や支援体制ルートの設置に目を向けたコードもあった。

【災害時に保健室の機能を最大限に生かす】という点では、災害時に〔感染症の隔離室〕や〔学校再開のため〕の特別の場所として保持できるように開放しないという考えと、〔避難者の健康管理センター的役割を担うため〕に、備品への明記・補充・整理をきちんと行うこと、また、＜保健室の耐震＞をきちんとしておくことが必要であるという考えがあった。

【校内体制】の面では、震災前に学校に準備されていた備蓄用の救急セットで足りない物が多く出された。また、多くの学校が避難所となったことを踏まえ、〔救護係の必要〕性や〔ライフラインの無い中での対応〕等まで、学校としての準備に関する意見が多く出されている。

さらに、【地域の防災対策を充実】に関しては、〔近隣の医師と避難所経営ができるとう良い〕など、学校だけではなく〔日頃からの行政・地域・学校の連携〕が必要であり、養護教諭や保健室の役割を明記した地域の防災マニュアルを望むコードが多かった。3月に大震災が発生し、4月に異動という流れになったが、全生徒の心と体を把握する養護教諭としては、この時期の異動には不安が大きかったことが述べられ、異動には配慮が必要という意見もあった。

全体的には、【校内体制】に関するコードが56個で一番多かった。

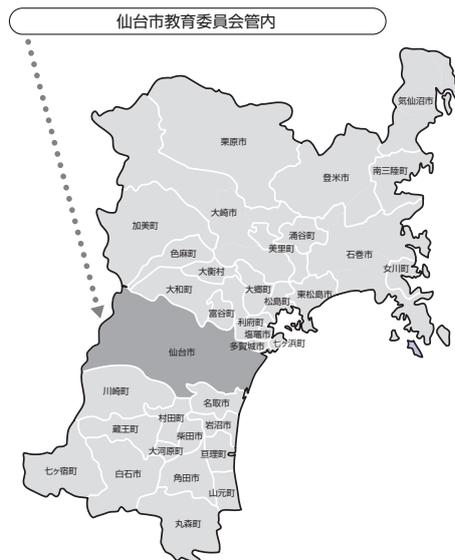


表 仙台市教育委員会管内(東日本大震災を経て今後役に立ちたいこと) (103人が回答 コード数計178)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	〔養護教諭の立場での危機管理と対応について明確にする〕〔養護教諭だからできることやっていきたい〕〔養護教諭・保健室の役割をシミュレーション〕〔マニュアル化して残し今後に生かす〕〔担任・保護者向けのおたより作成〕〔不安を感じていた高齢者への声がけ〕	6
	実働に向けた準備	〔忘れずに振り返っておきたい〕〔すぐに動けるシミュレーション〕〔マニュアル通りにはいかない。柔軟な対応必要。〕〔災害時の対応について考えておくこと必要〕〔避難訓練が、役に立っていない〕〔落ち着いて考え、行動すること。〕〔その状況になってから人は動くと思った〕〔休めるときに思いっきり休むこと〕〔健康診断や発育測定時の震災体制を〕〔なんでも引き受けたいほうがいい〕	18
	知識やスキルの研修	〔あらゆる場合に対応できるスキルアップ(専門的な助言・行動)〕〔放射能の影響について理解する〕〔心のケアは長い日で見ると〕〔食事の前にアルコール消毒してもらおう〕〔トイレにアルコールを置く〕〔水のない中での対応〕〔ライフラインが止まったときの準備〕	10

養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭同士の情報交換が必要	[中学校区の養護教諭が情報交換できれば良い。][もう少し早く養護教諭が集まれる機会があれば良かった][養護教諭同士の話し合いが大切][記録に残し、今後の災害に備えたい][仙台駅周辺の学校に避難者が多かったこと][被災した学校や避難所の様子を知って役立てたい][学校によって被害度の違いあり][実際に体験した先生から教えていただきたい]	11
	養護教諭の支援体制	[養護教諭同士の支援体制があってもよいのではないかと][他県の被災時に派遣できるシステムづくり][養護教諭のネットワークを生かしたサポート体制][養護教諭も身体症状ある。助け合い必要][交通状況も考え、近隣もしくは被害のひどいところへ派遣できる形]	6
	その他		0
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持	[重傷者のために保健室を締めていてよかった。][保健室は、感染症児童の隔離室][保健室は明けない][避難所に使われると戻ってこない場合が多いので、保健室用と避難所用に分けておく][備品を提供するのは、最終手段。学校再開のために出すべきではない][保健室は職員の休養の場としても必要]	9
	誰でも分かるように配置・備品の明確化	[避難した方々の健康管理センター的役割を担う][近くの医療機関の明記][保健室内配置物品の場所等にかかわる職員への周知][寝具類に大きくはっきり学校名を書いておくべき][救急薬品をすぐ出せるようにしておく][保健室にひとまとめにすれば誰でもわかりやすい][鍵がすぐ開けられるように]	12
	備品の整理・補充	[保健室に防災のための(ラジオ・懐中電灯・卓上コンロ・軍手・ゴム手袋、タオル・使い捨てカイロ・毛布・飲料水・食料)をそろえていて助かった][災害時に対応できる物品の準備][保健室開放を頭に入れて、個人情報の(施錠)管理をしっかりと][不要品を始末][保健室の消毒用アルコール・マスク、生理用品、ホッカイロなどあって良かった][保健室の寝具が戻ってこなかったが、追加配当があり助かった][救急用品は少し多めに][必要だったものを記録して、要望を出す][手洗い用の水をペットボトルに入れておく]	18
	保健室の耐震	[転倒防止対策][ガラスに防護フィルム]	5
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	[開放する場所を前もって明示][保健室を開放しても良いように][燃料のストック][ライフラインがストップしたときの情報収集法を確認][生徒の引き渡しの見直し・確認][全員無事で感動した。耐震補強・固定は大切][印刷ができない中での資料の準備][避難訓練が大切]	8
	心のケア		0
	避難所対応の準備	[救護係が必要][年に1度の避難所設置訓練が必要][避難所になったときの対処の仕方を身につけておくべき][食料・水・受付票トイレ等々使い慣れしておくこと必要][物のありかを明示(取り外し可能な物)][みんなが被災者・支援者も被災者][校内体制で役割分担を決め、地域の対応に当たった。][3日間は、持ちこたえる準備を][トイレ汚染防止のためのトイレ用履き物を用意][寝具多めに必要][避難所の清掃は誰がするのか、明確に。]	11
備蓄倉庫に備えたいもの	[学校におかれている救急薬品はほとんどがけがの対応で今回使えるものがなかった。][体温計][飲み薬][胃腸薬][腹痛薬][頭痛薬][風邪薬][懐中電灯][三角巾][レスキューシート][ラジオ][健康観察票][消毒薬][飲料水確保用ポリタンク][寒さ対策][ホッカイロ][トイレトペーパー][ウェットティッシュ][手洗い用の水][ブルーシート]	28	

校内体制の整備	職員体制	[ローテーションで出勤できれば肉体的精神的負担が少ない] [学校に泊まれる準備が必要シーツ毛布多めに] [職員の役割を明確に]	3
	管理職の考え	[保健室の開放は学校長に任せられている] [管理職の考え方一つで勤務の動向などが違った] [校長の指示で、全職員の血圧測定を行った。会話ができて良かった。] [自分の子供が小さいことから、管理職に優遇していただきありがたかった。] [校長の判断でガソリンが入らなくなったとき配慮していただいた。] [指示系統が複雑で機能していなかった管理職の危機管理能力が問われた]	6
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	[災害時における養護教諭・保健室の役割を教育計画にしっかり記載すべき] [避難所での養護教諭の役割について詳しく知りたい] [保健室の備品の使い方を明確に(どのように活用したらよいか)] [全てのライフラインがストップしてしまったときのことを想定して準備をしておくべき]	6
	地域ぐるみの準備	[日頃からの行政・地域・学校の連携] [日頃の備えの呼びかけを家庭・地域・職員へ] [避難所での養護教諭の役割が大きかった。県教委市教委からの指示がほしい] [区役所ごとの実働のための連絡会必要] [地区の中でどういう系統で職員はどう動くのか地区との連絡会や確認必要] [地域にも救護所を運営できるスタッフがいて緊急時駆けつけるシステムがほしい] [ライフラインが閉ざされているとき傷病者の搬送が必要な時の協力要請について検討しておきたい。] [行政、被害の少ない学校の職員の協力が得られると良い。] [地域との連携必要学校職員だけではだめ] [行政だけではやっていけないみんなの協力必要] [近隣の医師と避難所経営ができるとう良い]	15
	異動	[養護教諭は全児童を把握できる立場、非常の場合は異動を凍結するなど心のケアを考えた対応を教育委員会(文科省)で検討してほしい] [年度末の災害の時は、ずらすか取りやめてほしい] [配慮したほうがよい] [被災地に新任で赴任された人も大変、凍結すべきだった]	4
	その他		0
その他	感謝	[たくさんの方に助けていただき感謝] [全国からの支援に感謝]	2

(担当:菱沼)

大河原教育事務所管内

大河原教育事務所管内では、【養護教諭の災害時の実践力を培う】のところで、＜養護教諭同士の情報交換が必要＞がコード数5と多く、〔被災地域や被災校の活動の様子や子供たちへの対応、行政とのかかわりなどについて話を聞き、今後に役立てたいと思った〕養護教諭が多かった。また、＜実働に向けた準備＞として、〔心のケアのスキル〕や〔放射線などの知識〕を身につけておくことが大事だと答えている。

【災害時に保健室の機能を最大限に生かす】では、＜備品の整理・補充＞がコード数16と多く、〔保健室備品の整備と管理〕、〔緊急持ち出し袋の中味確認〕や〔非常用救急薬品の定期的な点検〕など、〔緊急時の備えの見直しをし、定期的に整理・補充をしていくことが大事〕だと思った養護教諭が多かった。また、〔誰にでも分かるように医薬品の表示や保健室内の物品の表示〕、〔落下すると危険な物の置き場所を変更することも大事〕だと答えている。

【校内体制の整備】では、＜災害危機管理体制＞がコード数15あり、〔救急体制を見直し、いろいろなケースを想定した避難訓練が必要〕であると思った養護教諭が多かった。＜避難所対応の準備＞としては、〔簡易トイレなど緊急物品の用意〕をしておくこと、〔当面生活できる物資の備蓄〕などが上げられた。

【地域の防災対策の充実】では、〔緊急時のマニュアルを見直し〕、〔避難所運営マニュアル〕や〔津波・原発など二次被害対応のマニュアル〕なども作成しておくことが必要であると答えている。〔この震災から、備えておくことの大切さと災害時発生時の共通理解の大切さを学んだ〕と印象的な声もあった。

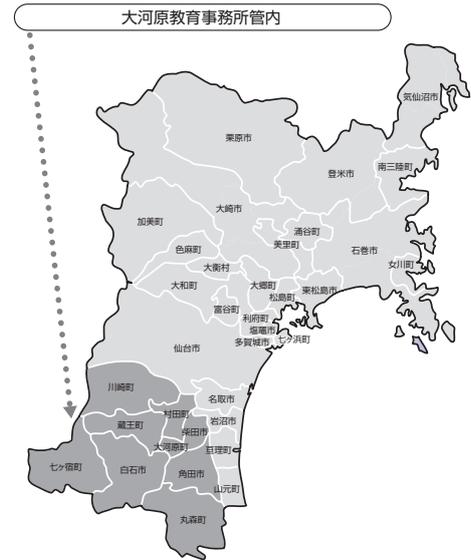


表 大河原教育事務所管内(東日本大震災を経て今後に関心があること) (45人回答 コード数計70)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	〔養教が使用済みトイレトーパーを一人で回収し処理した。他校では誰が処理を?〕〔救急時の冷静な状況判断〕〔児童の健康状態の把握〕〔全校的視野で職務遂行〕	4
	実働に向けた準備	〔心のケアのスキルを身につける〕〔放射線についての知識を身につける〕〔自分で生きるための知識、技能を身につける〕〔変化に気づくための日常のかかわりが重要〕	4
	知識やスキルの研修	〔心のケアの講演が子どもたちの対応に役立った〕	1
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔被災地区や被災校の活動の様子や困ったことから学ぶ機会〕〔避難所となった養教の話が行政との関わりで参考になった〕〔被災地域の学校の児童生徒の心のケアの対応や体制の実態〕〔震災後の取り組みについて聞きたい〕〔震災の体験をまとめ、後世に伝えていく〕	5
	養護教諭の支援体制		0
	その他	〔歯科衛生士の話で歯を食いしばって頑張ったため、奥歯など弱くなって、歯科受診増〕〔被災した学校のためにもっとできることは〕〔被災地の子どもたちや保健室の様子が心配〕	3
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持	〔正しい情報の選択、情報の入手方法〕	1

災害時に保健室の機能を最大限生かす	誰でも分かるように配置・備品の明確化	〔医薬品の整備と表示〕〔保健室内の物品の表示〕〔救急箱の隣に災害用グッズを備えた〕〔落下すると危険な物の置き場所変更〕	8
	備品の整理・補充	〔保健室備品の整備と管理〕〔救急薬品+カイロ、懐中電灯などの準備〕〔緊急持ち出し袋の中味確認〕〔物品購入と整備〕〔水や食料の常備〕〔緊急時の備えの見直し、実行〕〔非常用救急薬品の定期的な点検〕	16
	保健室の耐震		0
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	〔災害対応への事前の話し合い〕〔子供たちの出席状況・健康状態の把握が一番〕〔災害時のシミュレーションをしておく〕〔災害時の物〕〔校内救急体制の見直し〕〔児童の生命を守る〕〔緊急時の対応〕〔心のケア、継続的な取り組みの学び〕〔その時の状況での判断〕〔緊急時の避難訓練・ケースを想定した訓練〕〔十分な訓練〕	15
	心のケア		0
	避難所対応の準備	〔簡易トイレなど緊急時の物品を用意〕〔避難所に必要な準備〕〔当面生活できる物資の備蓄〕〔避難者の名簿作成〕〔避難所になった時の避難所配置図作成〕	6
	備蓄倉庫に備えたいもの		0
	職員体制		0
	管理職の考え		0
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	〔避難所運営マニュアル〕〔緊急時のマニュアルの見直し〕〔津波、原発被害等への対応・二次被害への対応〕〔ライフライン遮断時の危機管理体制〕	4
	地域ぐるみの準備		0
	異動		0
	その他	〔支援の仕方について、メール発信より具体的な支援が必要〕〔県学校保健会のホームページが欲しい〕〔県内の養護教諭の講師を使って欲しい〕	3
その他	感謝	〔文科省の心のケアの冊子が役立つ〕〔備えておくことの大切さ・災害発生時の共通理解の大切さを学んだ〕	2

〈担当:我妻〉

仙台教育事務所管内

苦労したことでも挙げられていたように、【校内体制の整備】の中の<避難所対応の準備>というサブカテゴリーに関するコードが15と多い結果となった。中でも、〔備蓄の充実〕が望まれている。市町村によっては、学校には備蓄を置いてないところがあり、また、〔家庭薬（内服薬・外用）〕の必要性を挙げる声もあるところから、学校独自で準備するのではなく、行政と連携して進めていくことが必要となる。また、<（自然災害）危機管理体制>として、具体的で詳細なものであるべきという考え方が出されており、養護教諭としても地域を熟知するなどして、積極的に体制づくりに関わっていくべきとの示唆とも言えるのではないかと。

【養護教諭の自然災害時の実践力を培う】という面では、心のケアや感染症対策などを含めて、専門性を生かした〔養護教諭としてのマニュアルづくり〕を考えているようである。それには、〔メモをとり確認〕といった普段からの心掛けや、〔避難所になった場合のノウハウ〕などの養護教諭同士の情報交換が重要であろう。保健室では日頃から〔環境整備〕を行って〔レイアウトを作成〕しておく、〔衛生材料等は余裕のあるうちに補充しておく〕などの具体策が出された。

また、小学校では、〔中学校だけでなく小学校でもスクールカウンセラーの配置〕を望む声もあった。

今回の震災では、地域によって被害の差が大きかった。被害の少なかった地区では、養護教諭部会として、あるいは学校単位で、大変だった学校に〔ボランティア〕に行きたかったという意見も挙がった。このことの是非は今後の課題となるであろう。

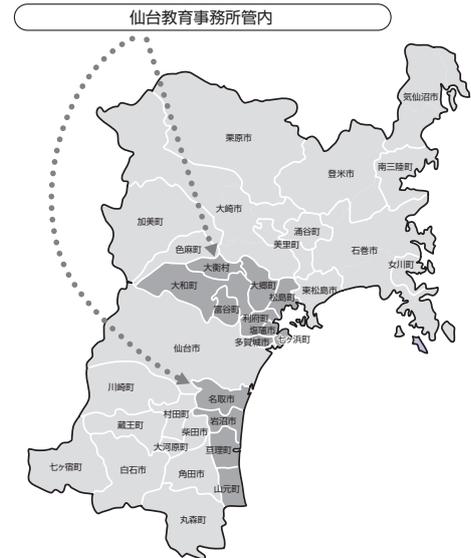


表 仙台教育事務所管内(東日本大震災を経て今後役にたいこと) (57人回答 コード数計86)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する	〔養護教諭としてのマニュアルづくり〕〔良かった点・反省点を記録に残すことが大切〕〔避難所・避難経路等について、不合理と思われることに気付いたら言えるように〕〔子どもだけでなく教職員や保護者への目を向け心のケアを〕〔温度差と創造力〕〔養護教諭の職務の専門性〕〔養護教諭の判断力と行動力〕〔メモを取り確認〕	8
	実働に向けた準備	〔震災直後とその後の心のケアの違い〕〔判断力と行動力〕〔震災で変わった家庭状況の確認〕	3
	知識やスキルの研修	〔偶然、震災前に役場の震災対策室の方の講演を聞いて良かった〕〔感染症対策〕〔災害後の心のケア〕	3
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔市内各校との情報収集法について事前に話し合っておくこと〕〔市内養護教諭同士の連携〕〔避難所になった場合のノウハウ〕	3
	養護教諭の支援体制	〔二人体制で検診日程が遅れても例年通りの集計ができた〕〔養護部会のネットワークをさらに強く結べたら〕〔委員会同士で応援の取り決めを〕〔県外から応援に来てもらうだけでなく被災のなかった者が現地に支援に行く体制を〕〔新潟のように県単位でボランティアを〕	5
	その他	〔学校医・薬剤師・養護教諭の連携〕	1
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持	〔非常災害に備えた保健室環境の整備〕	1

災害時に保健室の機能を最大限生かす	誰でも分かるように配置・備品の明確化	[救護所になった場合のために日頃から保健室を整備（平面図などで明記）][運べるものの優先順位と保健室のレイアウト]	3
	備品の整理・補充	[衛生材料等は余裕のあるうちに補充][救急セットの見直し]	5
	保健室の耐震		0
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	[日頃からどのような備えが必要か共通理解を図っておく][地震から津波といった二重避難に備えて情報経路・避難場所の確認][海に近い学区なので被害を最小限に食い止めるための方策][関係機関との連携][教員・地域・家庭との連絡手段を考えておく][避難について先発隊の車と徒歩の児童がどう合流するかなど細かいところまでの計画][子どもの安否確認方法]	9
	心のケア	[定期的なソーシャルワーカーの来校で安心][一時的に来校した状況のわからないカウンセラーよりわかっている中学校のカウンセラー等が効果的][被災していない小学校にもカウンセラーを][子どもだけでなく教職員の心のケアを]	5
	避難所対応の準備	[季節を問わずプール水の確保（EMの効果）][避難者の受け入れ体制][掃除をして環境衛生を保つこと][備蓄とマニュアルが必要][今回は体育館が入館できない状態になった][備蓄の確認][自校式給食室の利用][体育館への誘導][備蓄倉庫の管理][支援物資の割り振り][生命維持できる避難所の準備（食物・排泄・保温等）][協力的体制をつくる][学校の役割]	15
	備蓄倉庫に備えたいもの	[ござ代わりに使うアルミのマット][食料・水・毛布・衛生用品・薬品][毛布・石油ストーブ・アルファ米]	3
	職員体制	[職員の協力による備えと臨機応変な対応][健康管理][被災の少なかった学校から支援に行く体制（町全体・県教委全体で検討を）]	3
	管理職の考え		0
	その他	[壊れた校舎で生活する子どもへの影響を考える]	1
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	[小中合同の避難訓練][緊急災害時でも通信可能なものが必要][臨機応変な対応ができるように][市と連携した災害時の学校の対応（保健室の役割など）][医療機関や行政と共通理解を図ったマニュアル]	6
	地域ぐるみの準備	[市の備蓄庫の充実（毛布はあって助かったが、水・食料はもう少し欲しかった）][備蓄庫にある程度家庭薬（内服薬・外用）が必要では][町が管理する備蓄倉庫の充実][避難所に災害介護士や医師をすぐに派遣できるように][C R Tなどのチーム整備][市内の小中学校には災害備蓄がない][段階や時期に合わせた支援物資リストの作成]	7
	異動		0
	その他	[支援の仕方について、メール発信より具体的な支援が必要][「県学校保健会のホームページが欲しい」「県内の養護教諭の講師を使って欲しい」]	0
その他	感謝	[県外からの派遣で養護教諭2名体制][国内外からの物資や訪問などの支援に勇気づけられた][行政の方の活動][避難所での養護教諭の活動内容]	5

(担当:大槻)



北部教育事務所管内

今後に役立てたいこととして挙げられたのは、【校内体制の整備】であるが、特に＜心のケア＞についての意見が多く12コードであった。小中の差は少ないが小学校では、〔長い目でじっくり子どもたちを見ていきたい〕や〔つらい気持ちを訴える場所や人があればいい〕など、主に児童への配慮が中心となったのに対して中学校では、〔大人たちのよりどころがないのでは〕や〔家庭環境が不安定だと子どもにも影響する〕などのコードが挙げられ、子どもと同時に周囲の大人たちに対するケアの必要性も訴えている。

次いで多いのが＜危機管理体制＞であったが、これまで行ってきた避難訓練の改善点が主なものである。〔集団行動が必ずしも生命を守るものではない〕や〔臨機応変に対応できる力や知恵が必要〕など、訓練の内容を問うだけではなく、訓練の重要性を確認する意味合いのものであった。訓練内容の理解度や柔軟な対応を求める声が小・中学校ともに多く、今後の避難訓練の在り方についても大きな課題が見えるものとなった。

【養護教諭の災害時の実践力を養う】のカテゴリーでは、少数意見ではあったものの、〔健康手帳を金庫にしまう事の大切さを知りました〕や〔体験を風化させない記録〕〔紙やデータのバックアップが必要〕など、万が一に備えた保健室運営の工夫について貴重な意見を聞くことができた。今後の保健室運営に役立てると同時に、私たち養護教諭のネットワークを充実させ、一人一人の力を集結させて困難に立ち向かおうという決意のようなものを感じた。

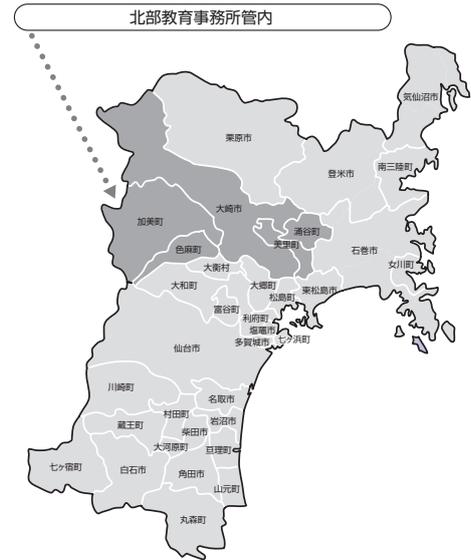


表 北部教育事務所管内(東日本大震災を経て今後に役立てたいこと)

(34人回答 コード数計62)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する		0
	実働に向けた準備	〔日常の環境整備に気を配りたい〕〔普段の準備や心がけが大切〕〔健康手帳を金庫にしまうことの大切さをしりました〕〔紙やデータのバックアップが必要〕	4
	知識やスキルの研修		0
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔避難所になった先生方の話を参考にしていきたい〕〔体験を風化させない記録〕〔他校の養護教諭の先生と情報交換ができ、貴重な話を聞けた〕〔災害時のケガはスポーツ振興センター対象にならない〕	4
	養護教諭の支援体制	〔健康診断票の記入とか、雑用でもお手伝いに行ければ少しは役に立てたかも〕〔何もお手伝いできます、普段と変わらない日々に申し訳ない気持ちです〕	2
	その他		0
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持	〔ライフラインが停止した際の保健室の在り方〕	1
	誰でも分かるように配置・備品の明確化		0

災害時に保健室の機能を最大限生かす	備品の整理・補充	〔救急用品や衛生材料は十分な量を常備しておく必要がある〕〔いろいろな場面を想定して準備しておく物があると思う〕〔インフルエンザ対策の消毒薬が少し役に立った〕〔衛生材料は多めに準備しておいた方がよい〕〔被害の程度に関係なく、マスク・手指消毒剤が大量に配布されたのは疑問〕	5
	保健室の耐震		0
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	〔引き渡し訓練、子どもを誰に渡すか大切〕〔避難訓練、引き渡し訓練は必要〕〔児童の安否確認の仕方について確認しておく必要あり〕〔避難の仕方について児童も先生もしっかりと理解しておかなければならない〕〔海に近い学校にはもっと安全対策を〕〔生命を守るための危機管理の重要性を再確認〕〔日頃からの避難訓練は大切〕〔集団行動が必ずしも生命を守るのではない。臨機応変に対応できる力、知恵が必要〕〔臨機応変に対応できる心構えと物品の準備、確認〕〔自然災害に対して、自分たちにどのような動きが必要か、体験を通して学んだ〕〔参考資料も出ているので参考にしたい〕	11
	心のケア	〔多くの子どもが不安を感じた〕〔長い目でじっくり子どもたちを見守っていききたい〕〔心のケア〕〔転校してきた児童の本当の気持ちはどうなのかなあと考えてしまう〕〔子どもと親に対する心のケアのありかた〕〔口に出せない不安をよく聴き取っていくことが大事〕〔つらい気持ちを訴える場所や人があればいいなあ〕〔被災した生徒の保護者が精神的に余裕がない〕〔大人たちのよりどころがないのでは〕〔家庭環境が不安定だと子どもにも影響する〕〔保護者や地域が必要としている情報を知り、伝えていきたい〕〔心のケアは養護教諭1人ではなく、教員全員で見つめていくのだと感じた〕	12
	避難所対応の準備	〔電気がこない日の生活の仕方について〕〔いざというときの物資が全くない〕〔ある物で対応できるよう常に整備しておきたい〕	3
	備蓄倉庫に備えたいもの	〔水・保存食・薬品などの備蓄が必要〕〔水の準備をどうするか普段から話し合い必要〕〔学校にも食料、水、毛布など備えておく必要がある〕〔備蓄用の食べ物、飲料水、保温シートなど物品があるといい〕〔保存食がある程度は必要〕〔ライフラインが停止した際の備品について〕	6
	職員体制	〔安否確認など、担任の負担を減らすサポート役に回っても良いと感じた〕〔先生方と愚痴をこぼし合っとなんとかがんばれた〕〔職員一人一人が逃げるだけで精一杯だった〕〔養護教諭としてよりは、学校職員として働いた〕	4
	管理職の考え	〔「通常」を押しつけられたような気持ちで毎日を過ごした〕	1
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	〔ライフラインが復旧するまでの対応マニュアルがあればいいなあ〕〔これ以上犠牲者を出さないで欲しい〕〔防災グッズの保管や見直し〕〔震災の対応やケアについて方向性や方針があれば、役割分担が明確になる〕〔食の安全に不安（放射能）〕〔放射能の情報をいち早く知らせて欲しい〕	6
	地域ぐるみの準備	〔ボランティアのマッチング〕〔日頃の協力関係が大切〕	2
	異動	〔よく考えない人事異動に対して、精神的な負担が大きかった〕	1
	その他		0
その他	その他		0

〈担当:原田〉

北部栗原教育事務所管内

このアンケートには17人が回答している。

この地区では【校内体制】の категорияが34のコードを持って一番大きい。避難所対応で使いたかったが無かったものや足りなかったものが多かったことから<備蓄倉庫に備えたいもの>には〔食材〕〔トイレトペーパー〕など12のコードあった。<災害危機管理>には、〔避難訓練（いろいろな場面を想定して）〕、〔自分の命は自分で守るという教えを考えていく〕、〔引き渡し訓練の大切さ〕などがあり、安全訓練と安全教育の必要性を訴えている。

また、今回の地震では、地区によって被害の程度の違いがあったため、〔自主的ではなく、組織的で動ける体制づくりがあると良い〕や〔応援に行きたい養護教諭はたくさんいたと思う〕など養護教諭の支援体制を望む声が挙がっていた。

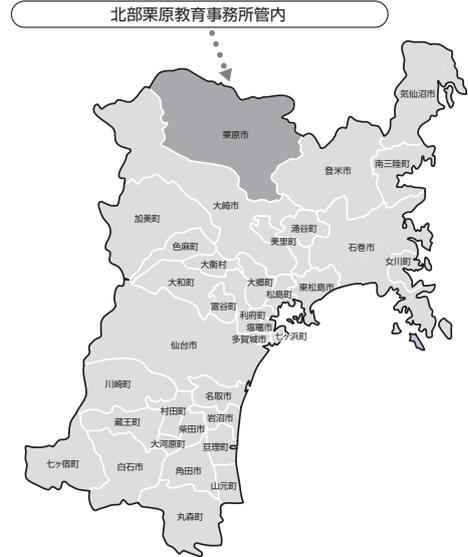


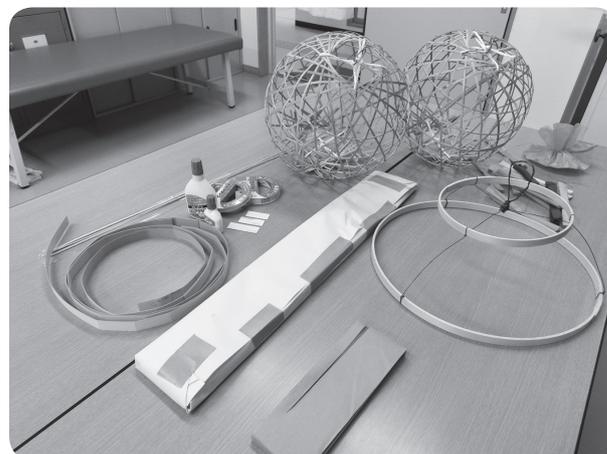
表 北部栗原教育事務所管内(東日本大震災を経て今後役に立ちたいこと)

(39人回答 コード数計52)

カテゴリー	サブカテゴリー	代表的なコード	コード数
養護教諭の災害時の実践力を培う	養護教諭の役割を明確化する		0
	実働に向けた準備	〔心のケア、他の資料を活用するのにCDは停電だと使えない。紙媒体でもあるとよい〕	1
	知識やスキルの研修	〔心のケアについて研鑽を積みたい〕	1
	養護教諭同士の情報交換が必要	〔実際に大きな被害にあわれた地区の経験を活かせるマニュアルのような形でまとめ、今後生かしていく〕〔子供たちの命を守ることの難しさを改めて感じる〕〔何も手伝えずに大変心苦しかった〕〔自主的ではなく、組織で動ける体制づくりがあるとよい〕〔応援に行きたい養護教諭はたくさんいたと思う〕	6
	養護教諭の支援体制	〔教職員の共通理解〕〔災害対応時のマニュアル〕〔専門機関との連携を日ごろから確認しておく〕	3
	その他		0
災害時に保健室の機能を最大限生かす	保健室機能の保持		0
	誰でも分かるように配置・備品の明確化	〔いつ何があってもいいように物品の管理・整理整頓は大切〕〔必需品は常にわかる場所に置く〕	2
	備品の整理・補充	〔いざという時に必要なものを身を持って体験。今後生かしたい〕〔持ち出し可能な応急処置の道具を準備する〕〔生理用ナプキンは多めに準備しておく〕	6
	保健室の耐震		0
	その他		0
校内体制の整備	自然災害危機管理体制	〔学校でどうしていくのかを考え直す必要がある〕〔自分の命は自分で守るという教えを考えていく〕〔避難経路の確認〕〔避難訓練（いろいろな場面を想定して）〕〔安全教育の大切さが身にしみた。訓練を大切に真剣に取り組んでいきたい〕〔震災が起きた時の対応〕〔引き渡し訓練の大切さ〕〔訓練に真剣に取り組む〕〔職員の共通理解が必要〕〔耐震マットの利用〕	11

校内体制の整備	心のケア		0
	避難所対応の準備	〔避難所になった際の対応や準備物について知りたい〕〔救護所になった場合の体制を整えておく〕〔他機関との連携の在り方についてどうつなげていくかを考えておくべき〕〔地域住民の受入や負傷者の手当て、健康管理〕〔指定避難所の安全確認と物品の確認〕	8
	備蓄倉庫に備えたいもの	〔水〕〔食材〕〔非常食〕〔保存食〕〔トイレトーパーパー〕〔ナプキン〕〔備えの必要性〕〔災害準備用品、マスク・軍手〕〔消毒用アルコールスプレー〕〔リストを作成して計画的に備蓄することが必要〕	12
	職員体制	〔教員自身が「自分たちは大丈夫」と過信しないこと〕	1
	管理職の考え		0
	その他		0
地域の防災対策を充実	防災マニュアル	〔ライフラインが繋がらない時の対応をシミュレーションしておく〕	1
	地域ぐるみの準備		0
	異動		0
	その他		0
その他	その他		0

〈担当:花淵〉



七夕飾り制作1 準備